

東濃信用金庫

多治見市・金融機関

平成27年度
認定

妊婦や育休経験者を会員とした「カンガルーポケットの会」を設立し、育休中のキャリア形成や円滑な職場復帰を促す。また女性職員による「チームなでしこ」を結成し、女性目線の取り組みを行う。

従業員数／男性479名 女性413名 計892名 ※平成31年1月現在

育児中も安心感と自立促す

東濃信用金庫では、妊婦や育休者を対象に「カンガルーポケットの会」を2010年に設立した。会は子ども同伴で年6回偶数月に開催しており、庫内情報や育児の悩みを共有したり、円滑な職場復

帰に向けたオペレーション研修などを実施している。さらに会では、復帰後の心得も啓発。人事部人材開発課の横山幸子さんは「特別な配慮があつて当然ではなく、周囲に感謝の心を持つことが大切」と話し、仕事への責任感を促す。これまでに延べ約600人が参加し、参加者からは、「復帰に対して前向きな気持ちになれた」「育休中も会社とのつながりを実感できる」とプラクニックに対する不安軽減にもつながっている。

2014年には「地域の皆様に愛される信用金庫にしたい」との思いから、女性職員による「チームなでしこ」を立ち上げ、現在16人のメンバーが中心となり、地域の子育て支援イベントへの参加や、地域でサークル活動を行っている方たちの発表会の場を設けたり、災害地への義援金を募るバザーを開催す

るなど、女性目線での地域とのつながりを深めている。また職員の業務面での課題解決を目的とした「おたすけCafe」を開催し仕事への不安、悩み解消にも一役買っている。



育休取得者がオペレーションの新しい機能追加の説明を受けている様子



育休復帰に向けてカンガルーポケットの会に取り組む様子